

## (公財) 日本ハンドボール協会公認 C級 審判員申請書

西暦 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

\_\_\_\_\_ 都道府県ハンドボール協会会長 様

下記の通り、(公財) 日本ハンドボール協会公認C級審判員の申請を致します。審査をお願い致します。

フリガナ 氏名		男・女	マイハンドボール会員ID (10桁)
	印		MH
生年月日	西暦 _____ 年 _____ 月 _____ 日生 ( _____ 歳)		
D 級 取得日	西暦 _____ 年 _____ 月 _____ 日	連絡先 (携帯)	
現住所	〒 _____  Mail _____ ※ webメールアドレスを記入願います		
勤務先 または 学 校	名称) _____ 〒 _____  TEL _____ FAX _____		
公式競技 審判数	都道府県大会 _____ 試合	講習会 受講年度	_____ 年度
登録支払 オーダーID	order _____ <MY HANDBALLより確認、9桁のIDを記入願います。下記※印も参照のこと>		

\*以下は、協会記入欄ですので、何も書かないで下さい。

..... 推 薦 書 .....

\_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

\_\_\_\_\_ ブロックハンドボール協会会長 様

\_\_\_\_\_ 都道府県審判長 \_\_\_\_\_ 印

上記の者を、(公財) 日本ハンドボール協会公認C級審判員に推薦いたします。

判定基準	5	4	3	2	1
人物・態度	5	4	3	2	1
技術・運営	5	4	3	2	1

競技規則試験実施日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 点数 ( \_\_\_\_\_ 点 / \_\_\_\_\_ 点)

(特記事項及び所見)

※ オーダーIDとは、上級申請審査料 (C級) ご入金後に、割り振られるIDです  
 【オーダーID確認方法】 MY HANDBALL ➡ 会員情報 ➡ お支払い一覧 ➡ 上級申請審査料お支払い金額横の▼をクリック

#### 4. 上級審判（A級、B級、C級）申請から認定までの流れ

- ① <申請者> マイハンドボールにログインする (<https://handball.sportscom.jp/>)。  
\* ログインできない方は、「マイハンドボールへの会員登録」を確認ください。  
\* すでに、チーム関係者等でIDを取得している可能性もあります。

- ② <申請者> 先ずは現有級の年度更新を行う。  
\* 「審判登録のお支払いについて」を確認ください。  
\* クレジットカードまたはコンビニ支払いが可能です。

← 現有級D級で  
更新料・3000円 747

- ③ <申請者> 都道府県審判委員会へ申請を申し出る。

- ④ <申請者> (都道府県協会の指示を受けてから)

審査料を入金し、都道府県審判長宛に申請書を作成、審判手帳を添えて提出する。

\* 申請書に「会員ID」および「オーダーID」を記載してください。

(オーダーIDは入金後、MY HANDBALL → 会員情報 → お支払い一覧 →

上級申請審査料お支払い金額横の▼をクリックすると、確認できます)

← 審査料はC級1000円

- ⑤ <都道府県審判委員会>

④で提出された全員分の申請書、審判手帳および審査料の入金確認を行う。

確認後、関係書類をブロック審判長へ送付する。

- ⑥ ~審査~ \* A、B級は、日本協会が審査する。

\* C級は、ブロック協会が審査する。

- ⑦ 本人へ合否を通知する。

- ⑧ <申請者のうち合格した者>

合格した者は、認定料を支払う。

<C級のみ>

ブロック審判長は、入金を確認し、認定者名簿を作成し、日本協会へ提出。

← 認定料は.2430円

- ⑨ <日本協会> 入金を確認、昇級を認定する。

- ⑩ <申請者> マイページから、審判等級が表示されているかの確認をする。

- ⑪ <日本協会（A・B級）ブロック協会（C級）> 本人にワッペンを送付する。



## C 級公認審判員の目標（2022年）

C級審判員は、公式試合（ブロック大会レベル）への参加資格が与えられる。ブロック大会は、各都道府県の代表チームの対戦であり、また全国大会の予選会である場合がほとんどである。

そのような公式試合を担当するためには、競技規則に則って試合を運営すること、および試合を運営するための基本となる技術を**十分理解し、実践することが求められる**。

また、**競技規則の理解**においては、競技規則試験において**8割以上の正答率（B級審判員認定に必要）**が求められる。

以下にC級審判員が十分理解し、実践すべき事項について記載する。

### <大会への参加>

- 1) 審判会議、代表者会議に出席し、その大会における申し合わせ事項などの共通認識を図る。出席にあたっては、ブレザー・ネクタイを着用する（本協会制定のものを推奨する）。
- 2) 大会審判員としての自覚を持つこと。所属都道府県の応援をしたり、他のレフェリーの批判をしたりするのは慎む。観衆、チーム関係者に見られていることを忘れない。

### <試合開始時>

- 3) トスには指定された時間に両レフェリー・T0 が立ち会う。メンバー表、登録証の確認を確実に行う。また、試合開始直前に公式記録用紙に正しく記載されているかどうかを確認する。
- 4) ユニホームの確認をT0と共にする。色やデザインが判別し難いものは着用させない。チーム役員の服装についても助言する。レフェリーウェアも判別し難い色は着用しない。
- 5) ウォーミングアップを選手と共にペアで行う。
- 6) ゴール、コートやボールの点検を行う。
- 7) オフィシャル席と業務の確認を行うこと（得点、罰則、時間の管理について）。

### <試合開始時>

- 8) メンバーチェックを登録証とともに確認する。
- 9) 選手入場・挨拶の後、両チーム役員やオフィシャルと挨拶をする。

## <試合中>

### ○ 得点の管理, 時間の管理

- 1 0) 得点の管理は、掲示板が正しく表記されているかどうか得点のたびに厳密に行う。着地シュート等紛らわしい場合、得点が誤って追加されていないか確認する。  
また、時間の管理は試合開始時、タイムアウト時、再開時にどちらか一方のレフェリーが公示時計を必ず目視し動作確認をする。

### ○ 走法と位置取り

- 1 1) CR と GR の基本的な立ち位置や動きを意識する。  
CR は判定の後にポイントに素早く移動する。  
GR への移動時、バックステップ走法は動きが遅く、非常に危険を伴うため用いない。
- 1 2) 7m スローの際、コートレフェリーはスローするプレイヤーの利き腕側に立つ。

### ○ 判定の手順, ジェスチャー

- 1 3) 判定の手順を守る。  
①笛 ②方向指示〔再開方法〕 ③(必要に応じ)ジェスチャー  
競技規則に記載されているジェスチャーを用いる。

### ○ 立ち居振る舞い

- 1 4) 2 人のレフェリーは、同じ種類の笛を使用する。長い時間、笛を口に入れたままにならないよう気を付ける。笛を口に入れたまま、プレーを観察することがないように。

### ○ 役割分担

- 1 5) **ゴールエリアライン際の判定は、すべてゴールレフェリーが判定する。**  
1 6) **ピボットプレイヤーの観察は、コートレフェリー、ゴールレフェリーで連携する。**

### ○ 競技規則の正しい運用

- 1 7) **警告、退場を判定した際は、その理由をボディランゲージで大きく示す。**  
1 8) 指し違えたときは、必ずタイムアウトを取り 2 人で協議する。

## <試合終了後>

- 1 9) 試合終了の挨拶（両チーム役員・オフィシャル）をして、公式記録用紙に正しく記載されているのを確認後サインする。
- 2 0) 大会審判長や他のレフェリーに助言を求める。  
審判手帳に記載する。  
審判長に捺印をお願いする。

# C級公認審判員の目標 チェックリスト（2022版）



<b>◆ 大会への参加</b>	チェック
○ 審判会議、代表者会議に参加し、申し合わせ事項等の共通認識を図る	<input type="checkbox"/>
○ 大会審判員としての自覚を持つこと。常に見られていることを忘れないこと	<input type="checkbox"/>
<b>◆ 試合前</b>	チェック
1) 両レフェリー、TOが立ち会いのもとトスを実施	<input type="checkbox"/>
2) メンバー表、登録証、(試合開始前の)公式記録用紙の確認	<input type="checkbox"/>
3) ユニホームの確認(濃淡・デザインがはっきりした物：チーム同士、レフェリーウェアとチーム)	<input type="checkbox"/>
4) チーム役員のウェアの確認(相手チームのコートプレーヤーと重複していないか)	<input type="checkbox"/>
5) ウォーミングアップは、選手と共にペアで行う	<input type="checkbox"/>
6) ゴールやコート、ボールの点検	<input type="checkbox"/>
7) オフィシャルとの連携(業務の確認：得点、罰則、時間の管理について)	<input type="checkbox"/>
<b>◆ 試合開始前</b>	チェック
8) メンバーチェックを登録証とともにを行う	<input type="checkbox"/>
9) 選手入場・挨拶の後、両チーム役員やオフィシャルと挨拶	<input type="checkbox"/>
<b>◆ 試合中</b>	チェック
<b>得点の管理、時間の管理</b>	
10) 得点の管理はできているか(得点のたびに確認しているか)	<input type="checkbox"/>
11) 目視による公示時計の動作確認(どちらかが、試合開始時、タイムアウト時、再開時に)	<input type="checkbox"/>
<b>走法と位置取り</b>	
12) 基本的な立ち位置や動きを意識しているか	<input type="checkbox"/>
13) コートレフェリー時：判定の後に素早くポイントに移動しているか	<input type="checkbox"/>
14) ゴールレフェリーへの移動時：バックステップを用いることなく移動しているか	<input type="checkbox"/>
15) 7mTの際のコートレフェリー：スロアーの利き腕側に立っているか	<input type="checkbox"/>
<b>判定の手順、ジェスチャー</b>	
16) ① 笛 ② 方向指示 ③(必要に応じ)ジェスチャー の判定の手順を守っているか	<input type="checkbox"/>
17) 正しいジェスチャーを用いているか	<input type="checkbox"/>
<b>立ち居振る舞い</b>	
18) ペアで同じ種類の笛を使用しているか	<input type="checkbox"/>
19) 笛を口にくわえたまま、プレーを観察していないか	<input type="checkbox"/>
<b>役割分担</b>	
20) ゴールエリアライン際の判定は、すべてゴールレフェリーが判定しているか	<input type="checkbox"/>
21) ピボットプレーヤーと防御プレーヤーの攻防を、ペアで連携し観察できているか	<input type="checkbox"/>
<b>競技規則の正しい運用</b>	
22) 警告や退場を判定する際、その理由をボディランゲージを用いて大きく示しているか	<input type="checkbox"/>
23) 差し違えた場合、必ず ①タイムアウト ②ペアで協議 をしているか	<input type="checkbox"/>
<b>◆ 試合中終了後</b>	チェック
24) 両チーム役員やオフィシャルと挨拶	<input type="checkbox"/>
25) 公式用紙に正しく記入されているかどうか確認後、サイン	<input type="checkbox"/>
26) 大会審判長や他のレフェリーへ助言を求める	<input type="checkbox"/>
27) 審判手帳に担当試合を記載し、審判長に捺印をお願いする	<input type="checkbox"/>